

史跡10周年魅力を発信

木津川・椿井大塚山古墳

木津川市山城町の住民団体「椿井大塚山古墳を守る会」は、古墳の国史跡指定から10周年を記念するイベントを企画している。

22日に講演などの集いを開くほか、秋には古墳でのコンサートや竹灯籠を使った「ライトアップ」なども行う。

守る会は、古墳の上ると、1996年にりなどのほか、調査担に暮らす8戸の住民が結成した。現在のメン 当者を招いて勉強会を「古墳を守ることは家 バーは地域住民も含め 開き、観光客の案内役を守ることにつながた25人で、一帯の草刈も務めている。



22日の集いや秋のイベントで使用する竹灯籠について話す「椿井大塚山古墳を守る会」の大山代表

「守る会」が22日に集い 竹灯籠や講演会

記念イベントは「古墳をどう守っていくかもう一度勉強し、趣旨に賛同してくれる会員を増やしたい」と企画した。

22日の集いは午後5時～同8時、アスピアやましる（山城町）で開く。調査担当者や郷土史家が講演し、終了後には地元の若者グループ「京都たけプロジェクト」が竹灯籠で会場を照らす「竹灯路」を行う。

10月にもシンポジウムやコンサート、竹灯籠を並べて古墳の形を浮かび上がらせる「ライトアップ」を計画している。

大山順子代表（75）は「10周年を機に広く魅力をアピールし、環境整備の促進も働きかけていきたい」と話している。

（笹井勇佑）